

資 料 提 供	
平成28年11月28日	
担当課	地域振興課
(担当者)	(田中・高林)
電 話	0857-26-7089

平成27年度市町村普通会計決算の概要

本資料は、鳥取県内市町村(一部事務組合及び広域連合を除く(19団体))の普通会計決算の状況を取りまとめたものです。

歳入	・・・ 歳入総額は、前年度を40億95百万円上回る3,154億3百万円となった。
歳出	・・・ 歳出総額は、前年度を41億48百万円上回る3,069億66百万円となった。
決算収支	・・・ 実質収支は黒字で、黒字額は前年度を11億80百万円上回る69億48百万円となった。なお、実質収支が赤字の市町村はなかった。

1 歳入

主な増減内訳は、地方消費税交付金の増加(45億1百万円増)、国庫支出金の増加(27億3百万円増)、寄附金の増加(10億28百万円増)、地方税の減少(11億90百万円減)、繰越金の減少(10億68百万円減)である。

増要因としては、地方消費税交付金について、地方消費税率引上げにより増加したこと、国庫支出金について、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金が増加したこと、寄附金について、ふるさと納税が増加したこと、などが挙げられる。

減要因としては、地方税について、税制改正に伴う税率の引下げにより法人住民税が減少したこと及び評価替えに伴う課税額の減により固定資産税が減少したこと、繰越金について、普通建設事業に係る繰越が減少したこと、などが挙げられる。

2 歳出

主な増減内訳は、補助費等の増加(29億28百万円増)、積立金の増加(25億46百万円増)、繰出金の増加(20億14百万円増)、普通建設事業費の減少(40億97百万円減)、公債費の減少(24億62百万円減)である。

増要因としては、補助費等について、緊急経済対策によるプレミアム付き商品券の発行事業が増加したこと、積立金について、財政調整基金、ふるさと納税に係る基金などの各種基金への積立が増加したこと、繰出金について、米子市の土地開発基金への繰出が増加したこと、などが挙げられる。

減要因としては、普通建設事業費について、米子市の共同調理場整備事業、境港市の給食センター建設事業などの事業が減少したこと、公債費について、減税補てん債などの償還額が減少したこと及び繰上償還が減少したこと、などが挙げられる。

3 決算収支

- (1) 実質収支は11億80百万円増加し、69億48百万円の黒字となった。また、実質単年度収支は41億73百万円増加し、43億84百万円の黒字となった。
- (2) 実質収支が赤字の団体は、なかった（平成26年度もなし）。

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度増減
実質収支	69億48百万円	57億68百万円	+11億80百万円
実質単年度収支	43億84百万円	2億11百万円	+41億73百万円

4 財政構造の弾力性

- (1) 経常収支比率は、全体で0.9ポイント低下し、87.0%となった。そのうち人件費充当は、全体で0.4ポイント低下し、22.1%となった。
- (2) 実質公債費比率は、全体で1.1ポイント低下し、11.4%となった。

区 分	平成27年度	平成26年度	対前年度増減
経常収支比率	87.0%	87.9%	▲0.9
うち人件費充当	22.1%	22.5%	▲0.4
実質公債費比率	11.4%	12.5%	▲1.1

※ 詳細は別紙のとおりです。